

1 単 元 画像の使い方を考えよう

2 指導計画 (2時間完了)

- (1) 肖像権に気を付けよう・・・1時間(本時1/1)
 (2) 著作権に気を付けよう・・・1時間

3 本時の指導

- (1) 目 標
 ○ デジタルカメラを使って写真を撮影する際、他人の権利を意識して撮影することができる。
- (2) 情報教育に沿ったねらい
 ○ 「肖像権」の意味を理解できるようにする。
 ○ 他人の権利を意識して、写真の撮影ができるようにする。
- (3) 準備 学習プリント
 (4) 指導過程

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価の観点と方法
5分	1 本時の学習内容を知る。	○ 学習内容は、修学旅行での活動で気を付けることであることを意識して、聞かせるようにする。	○ 学習内容を修学旅行での活動に生かそうとしているか、聞く態度や表情からつかむ。
35分	2 肖像権を知り、撮影するとき気を付けることを考える。		
(10分)	(1) 肖像権を知る。		
デジタルカメラを使うと気軽に写真を写せるので、他人を勝手に撮ってもよい。			
(15分)	(2) 自分が撮影されたときの気持ちを考える。	<p>○ 「くすのきネットなごや」の情報モラルクイズの問題を提示して、日ごろの撮影の様子を振り返らせる。</p> <p>○ 肖像権のことを説明し、意識することの大切さに目を向けさせる。</p> <p>○ Web ページを閲覧したときのことを想起させ、いろいろな画像が掲載されていることに気付かせる。</p> <p>○ 画像は簡単に Web ページに掲載できることを説明した上で、他人に自分を撮影されたときの気持ちを考えさせる。</p>	<p>○ 撮影するとき気を付けることを考えようとしているか、学習プリントの記述や発言からつかむ。</p> <p>○ 画像を撮影することの重要性に気付くことができたか、学習プリントの記述や発言からつかむ。</p>

(10分)	(3) 撮影するとき、気を付けることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見学地によって、撮影禁止の場所があることを補足する。 ○ 本時で学習したことを振り返り、修学旅行先で撮影するとき気を付けることを学習プリントに記述させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他人の権利を尊重して撮影する必要があることに気付くことができたか、学習プリントの記述や発言からつかむ。
5分	3 本時の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他人の権利を尊重して撮影する重要性を配慮した上で、修学旅行での活動で気を付けることを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他人の権利を尊重して撮影しようとする気持ちをもつことができたか、学習プリントの記述からつかむ。

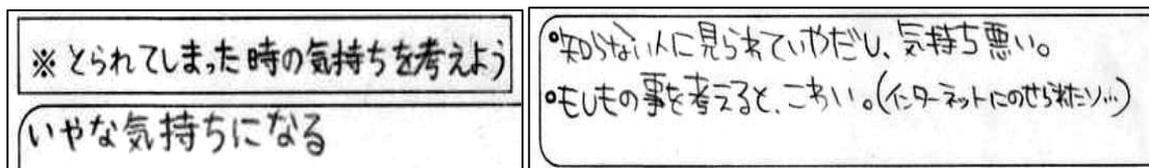
4 実践の様子

(1) 修学旅行でデジタルカメラを使って撮影を行わせる際、誤った活動を行わせないために、肖像権・著作権などの他人の権利について説明し、その大切さを考えさせた。

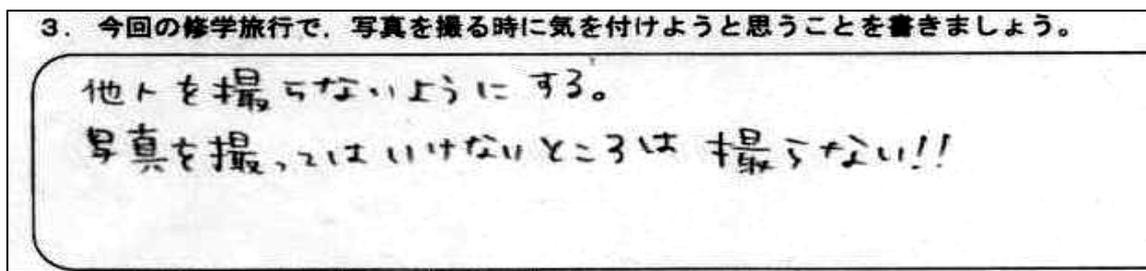
初めに、肖像権を考えさせるために、「くすのきネットなごや」の情報モラルクイズの問題を提示した。「勝手に撮影してはいけない」ということを知っている子どもがほとんどであったが、あまり意識せずに撮影してしまっているのが現状であった。

(2) 子どもにとって初めて聞く言葉であると考えられるので、肖像権について説明した。そして、Web ページを閲覧したときのことを想起させたり、画像は簡単に Web ページに掲載できることを説明したりして、自分が他人に写真を撮られてしまったときの気持ちを考えさせた。

ほとんどの子どもから、「いやな気持ちになる」「悪用されるかもしれないから怖い」という答えが返ってきた。



(3) 見学先には撮影禁止の場所がたくさんあるので、きちんと確認してから撮影することを指導した。



こうして、修学旅行で撮影をする際に、他人の権利を意識して撮影するように気を付けようとする気持ちをほとんどの児童に持たせることができた。

5 成果と課題

○ 情報モラルクイズの問題を提示したことにより、日ごろの様子を振り返らせやすく

することができ、課題をしっかりと把握させることができた。

- 自分が撮影されたときの気持ちを考えさせたことにより、自分の課題としてとらえ、意欲的に考えさせることができた。
- 実際に撮影する活動の直前にこの活動を行ったため、撮影をする際、ほとんどの子どもが他人の権利を意識した撮影をすることができた。
- 今回の学習で他人の権利を尊重する態度が定着しているとは言い切れないので、繰り返し、こうした活動を行う必要があると感じた。